

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年7月19日 (2018.7.19)

【公開番号】特開2017-203986(P2017-203986A)
 【公開日】平成29年11月16日 (2017.11.16)
 【年通号数】公開・登録公報2017-044
 【出願番号】特願2017-93947(P2017-93947)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/30

C 0 8 J 5/18 C E Z

C 0 8 J 5/18 C F G

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月8日 (2018.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の (1) 及び (2) を満足する凹みについて、光学フィルムの片面及びその裏面の $10000\mu\text{m}^2$ 当たりの個数の和が 4 個以下である光学フィルムであり、

(1) 凹みの深さが 200nm 以上である、及び

(2) 凹みの 200nm 以上の深さに存在する部分の直径が $0.7\mu\text{m}$ 以上である、

かつ、以下の (1') 及び (2') を満足する凹みについて、光学フィルムの片面及びその裏面の $10000\mu\text{m}^2$ 当たりの個数の和が 4 個以下である光学フィルム。

(1') 凹みの深さが 200nm 以上であり、 $2\mu\text{m}$ 以下である、及び

(2') 凹みの 200nm 以上の深さに存在する部分の直径が $0.7\mu\text{m}$ 以上であり、 $30\mu\text{m}$ 以下である。

【請求項 2】

以下の (1) 及び (2) を満足する凹みについて、光学フィルムの片面及びその裏面の少なくとも一方の面において、 $10000\mu\text{m}^2$ 当たり 0.1 個以下である光学フィルム。

(1) 凹みの深さが 200nm 以上であり、及び

(2) 凹みの 200nm 以上の深さに存在する部分の直径が $0.7\mu\text{m}$ 以上である、

かつ、以下の (1') 及び (2') を満足する凹みについて、光学フィルムの片面及びその裏面の少なくとも一方の面において、 $10000\mu\text{m}^2$ 当たり 0.1 個以下である光学フィルム。

(1') 凹みの深さが 200nm 以上であり、 $2\mu\text{m}$ 以下である、及び

(2') 凹みの 200nm 以上の深さに存在する部分の直径が $0.7\mu\text{m}$ 以上であり、 $30\mu\text{m}$ 以下である。

【請求項 3】

屈折率が $1.45 \sim 1.70$ である請求項 1 又は 2 記載の光学フィルム。

【請求項 4】

ポリイミド系高分子を含有する請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載の光学フィルム。

【請求項 5】

J I S K 7 1 3 6 : 2 0 0 0 に準拠した全光線透過率が 8 5 % 以上である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項記載の光学フィルム。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載の光学フィルムを用いたフレキシブルデバイスの光学部材。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載の光学フィルムを用いたフレキシブルデバイスの前面板。